室町時代

名前

問1　室町時代の農村では、有力な農民を中心に「惣」と呼ばれる自治的な組織が作られました。この組織の性質や活動について述べた文として、最も適切なものはどれか。（2015年 千葉県公立入試 類似）

1. 地主が工場を建設して農民を雇い、分業と協業の体制によって手工業製品を大量に生産した。
2. 重い年貢や労役から逃れるために、農民たちが耕作を放棄して集団で都市部へと移住した。
3. 村の祭礼を共同で行うなどして結束を強め、守護大名や荘園領主に対して年貢の減免などを求めて抵抗した。
4. 江戸幕府によって組織され、年貢の納入や犯罪の防止について近隣の数軒ごとに連帯責任を負わされた。

問2　室町時代の文化は、足利将軍家の保護を受けただけでなく、次第に民衆の間にも広まりを見せました。この時代に成立した「御伽草子」に共通する特徴として最も適切な説明を、次のうちから選びなさい。（2020年 千葉県公立入試 類似）

1. 武士の合戦の様子を琵琶の伴奏に合わせて語り継ぐために作成された。
2. 遣唐使の廃止に伴って成立し、日本独自の四季や生活を優雅に表現した。
3. 身近な庶民を主人公とし、挿絵が添えられた物語として広く親しまれた。
4. 浮世絵をふんだんに取り入れ、町人の華やかな生活や恋愛を風刺的に描いた。

問3　1333年に鎌倉幕府が滅亡した後、後醍醐天皇が開始した政治体制について述べた文として、最も適切なものはどれか。（2021年 高知県公立入試 類似）

1. 足利尊氏が征夷大将軍となり、武士の利益を第一に考える幕府による政治。
2. これまでの武家政治のしきたりを無視し、天皇自らが政治を行う公家中心の政治。
3. 北条氏が執権として実権を握り、御家人の生活を支えるための徳政令を発布する政治。
4. 六波羅探題を京都に設置し、幕府が朝廷の動きを厳しく監視する政治。

問4　14世紀から16世紀にかけて、日本や朝鮮半島、中国沿岸の広い地域で略奪や海賊行為を行っていた集団は、当時、東アジア諸国の大きな悩みとなっていました。室町時代、足利義満はこの集団と正式な貿易船を区別し、明との貿易を円滑に進めるためにある制度を導入しましたが、この集団の名称として正しいものを選びなさい。（2025年 沖縄県公立入試 類似）

1. 御家人
2. 土一揆
3. 倭寇
4. 遣明使

問5　後醍醐天皇による建武の新政に反旗を翻し、1338年に光明天皇から征夷大将軍に任命されて、京都に武家政権である室町幕府を開いた人物は誰ですか。（2018年 秋田県公立入試 類似）

1. 足利尊氏
2. 源頼朝
3. 足利義満
4. 足利義政

問6　室町時代の中期以降、土民（農民）や運送業者である馬借らが団結し、実力行使によって借金の帳消しを求める「徳政一揆」が頻発しました。一揆勢が土倉や酒屋、さらに高利貸しを行っていた寺院などを襲撃した最大の目的として、最も適切なものはどれですか。（2020年 静岡県公立入試 類似）

1. 幕府の許可を得て、土地の所有権を天皇へ返還するため
2. 新しい年貢の徴収制度である「検地」を中止させるため
3. キリスト教の布教を阻止し、伝統的な仏教勢力を守るため
4. 借金の証文を破棄させることで、債務の無効化を強行するため

問7　足利義政が京都の東山に営んだ山荘（銀閣）の敷地内には、東求堂という建物があり、その一室に「同仁斎」と呼ばれる書斎が設けられました。この建物や当時の文化に関する記述として、歴史的背景をふまえて最も適切なものを次から選びなさい。（2024年 岐阜県公立入試 類似）

1. 足利義満が金閣を建てた時期の文化であり、公家文化と武家文化が融合した華やかな特色を持つ。
2. 聖徳太子が建立した寺院に見られる様式で、ギリシャの神殿に似た柱の膨らみが特徴である。
3. 足利義政が設けた書斎であり、茶の湯や読書が行われ、畳や床の間を持つ後の日本家屋の原型となった。
4. 鎌倉時代の武士の精神を反映したもので、力強さを強調するために金箔をふんだんに使用している。

問8　奈良県にある柳生徳政碑文と呼ばれる石碑には、「正長元年より以前の負債はこの地域（四箇郷）において一切なくなる」という趣旨の内容が刻まれています。この石碑が作られる背景となった「正長の土一揆」について、その性質を説明した文として適切なものはどれか。（2018年 沖縄県公立入試 類似）

1. 飢饉による苦しみを訴えるため、農民たちが領主に対して年貢を半分に減らすよう嘆願した。
2. 室町幕府が農民を救済するために自ら徳政令を発布し、それを記念して石碑を建立させた。
3. 有力な守護大名が自らの領国を支配するために、独自の法律として負債の禁止を定めた。
4. 農民たちが惣などの自治組織を通じて団結し、実力行使によって借金の破棄を実現させた。

問9　15世紀初めに統一された琉球王国の拠点である首里城の所在地について、日本列島周辺の地理的区分に基づいた説明として最も適切なものはどれですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）

1. 南西諸島の沖縄県付近
2. 山陽地方の岡山県付近
3. 九州南部の鹿児島県付近
4. 北東北の岩手県付近

問10　東山文化の時代には、現代の和室の原型となる建築様式が確立されました。また、この時代には中国（明）へ渡り、水墨画を日本独自の芸術として大成させた人物も活躍しました。この建築様式の名称と、人物の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2023年 島根県公立入試 類似）

1. 書院造 – 雪舟
2. 寝殿造 – 運慶
3. 書院造 – 世阿弥
4. 寝殿造 – 雪舟

問11　室町時代に農民たちが「寄合」を開き、自発的な自治組織を結成して行動するようになった主な背景として、最も適当な説明はどれですか。（2022年 宮崎県公立入試 類似）

1. 飢饉や社会の動乱に対し、農民たちが結束して用水の管理や自衛を行う必要が生じたため。
2. 領主が農民同士の争いを防ぐために、すべての村に寄合の設置を義務付けたため。
3. 室町幕府が農民の団結を促し、全国の関所を廃止して自由な貿易を行わせる方針をとったため。
4. 商人や手工業者が作った同業者組合に対抗して、農民が流通の独占を狙ったため。

問12　室町時代、現在の沖縄県にあたる地域に成立した琉球王国が、日本や明、東南アジア諸国を結ぶ地理的条件を生かして行った、各地の品物を買い入れて他国へ転売する貿易形態を何といいますか。（2025年 岩手県公立入試 類似）

1. 中継貿易
2. 南蛮貿易
3. 勘合貿易
4. 朱印船貿易

問13　室町時代、有力な農民たちが中心となって結成し、村の掟の制定や用水の管理などを自律的に行った自治組織を何といいますか。（2022年 徳島県公立入試 類似）

1. 五人組
2. 惣
3. 座
4. 株仲間

問14　室町時代の農村において、農民たちが自治を行う際、重要な事項を決定するために開いた会議と、そこで定められた独自のルールの組み合わせとして正しいものはどれか。（2023年 大阪府公立入試 類似）

1. 評議 – 式目
2. 寄合 – 村掟
3. 合議 – 定書
4. 座談 – 法度

答え合わせ・解説

問1	答え 3 村の祭礼を共同で行うなどして結束を強め、守護大名や荘園領主に対して年貢の減免などを求めて抵抗した。	室町時代、農業生産力の向上を背景に経済力をつけた有力な農民たちが現れ、自衛と自治のために「惣（惣村）」を結成しました。彼らは神社の祭礼などの共同行事を通じて団結を深め、寄合を開いて村のルールを定めました。その強い結束力を用いて、支配者である守護大名や荘園領主に対して、年貢の引き下げを求める交渉や土一揆などの実力行使を行うようになりました。
問2	答え 3 身近な庶民を主人公とし、挿絵が添えられた物語として広く親しまれた。	室町時代は、下剋上の風潮の中で実力をつけた庶民が文化の担い手となっていく過程にあります。御伽草子は、それまでの貴族中心の文学とは異なり、一寸法師や浦島太郎といった庶民にも馴染みのある登場人物を扱い、視覚的に分かりやすい「絵入り」であったため、階層を問わず広く普及しました。選択肢にある「合戦の様子」は軍記物語、「町人の生活」は江戸時代の文化、「日本独自の優雅な表現」は平安時代の国風文化の説明です。
問3	答え 2 これまでの武家政治のしきたりを無視し、天皇自らが政治を行う公家中心の政治。	鎌倉幕府を倒した後に始まった「建武の新政」は、武家による政治（幕府）を否定し、天皇による親政を目指したものでした。土地の所有権の確認などを、長年続いてきた武士の慣習ではなく天皇の命令（綸旨）によって強引に進めたため、武士階級の反発を招くことになりました。
問4	答え 3 倭寇	14世紀から16世紀にかけて活動した海賊集団は「倭寇」と呼ばれます。前期倭寇は南北朝時代の混乱に乗じて朝鮮半島などで活動し、後期倭寇は16世紀に中国人主導で密貿易などを行いました。室町幕府の3代将軍である足利義満は、明からの要求に応じて倭寇を取り締まるとともに、海賊と正式な貿易船を識別するために「勘合（勘合符）」という割印を用いた「勘合貿易」を開始しました。
問5	答え 1 足利尊氏	鎌倉幕府を滅ぼす際に貢献しましたが、その後の後醍醐天皇による公家を重視した政治に武士たちが不満を抱いたため、それらの武士をまとめて独自の政権を樹立しました。これが室町幕府の始まりです。
問6	答え 4 借金の証文を破棄させることで、債務の無効化を強行するため	室町時代、土倉や酒屋、一部の寺院などは、庶民に対して高い利息で金を貸し付ける金融業（高利貸し）を行っていました。凶作や重税に苦しむ農民や馬借らは、幕府に対して徳政（債務免除）の命令を出すよう求めましたが、それが聞き入れられない場合に、自力で金融業者を襲撃しました。その際、借金の記録である「証文」を奪って破棄したり、質入れしていた品物を取り返したりすることで、強制的に借金をなしにする「私徳政」を行いました。
問7	答え 3 足利義政が設けた書斎であり、茶の湯や読書が行われ、畳や床の間を持つ後の日本家屋の原型となった。	足利義政の時代に栄えた東山文化は、応仁の乱という動乱の時期に重なりながらも、わび・さびといった日本独自の美的感覚を育みました。東求堂同仁斎は、義政が文化人として日々を過ごした書斎であり、そこで行われた茶の湯や連歌などの活動が、書院造という建築様式の発展を促しました。選択肢にある「金箔を貼った華やかな文化」は足利義満の北山文化を指し、東山文化の簡素な美意識とは対照的です。
問8	答え 4 農民たちが惣などの自治組織を通じて団結し、実力行使によって借金の破棄を実現させた。	正長の土一揆は、幕府が徳政令を出す前に、農民たちが自らの実力で借金を無効化したことが特徴です。柳生徳政碑文は、その地域で負債がなくなったことを農民たちが自ら記録したものであり、当時の農民が「惣」などの組織を通じて強く団結していたことを示しています。幕府がこの時に徳政令を出したわけではなく、あくまで農民側の実力行使による結果である点が重要です。
問9	答え 1 南西諸島の沖縄県付近	首里城は現在の沖縄県那覇市に位置しています。岩手県付近は奥州藤原氏、鹿児島県付近はのちに琉球へ侵攻することになる薩摩藩の拠点であり、首里城の歴史的背景とは異なります。南西諸島に位置する沖縄は、東アジアの海上交通の要所でした。
問10	答え 1 書院造 － 雪舟	銀閣（慈照寺）の一部に見られる「書院造」は、畳を敷き詰め、床の間やふすま、障子などを設ける様式で、現代の日本住宅（和室）のルーツとなりました。また、同じ時期には雪舟が明に渡って絵画を学び、日本の水墨画を完成させました。
問11	答え 1 飢饉や社会の動乱に対し、農民たちが結束して用水の管理や自衛を行う必要が生じたため。	寒冷な気候による飢饉や頻発する動乱に直面した農民たちは、村ごとに結束して寄合を開き、用水の管理や防犯などの自治を行う惣を発達させました。
問12	答え 1 中継貿易	室町時代に成立した琉球王国は、日本、明、東南アジア諸国を結ぶ位置にあったため、各地の特産物を買い入れて他国に売る中継貿易によって繁栄しました。
問13	答え 2 惣	室町時代の村落では、農民が自立性を高め、有力な農民を中心に「惣（惣村）」と呼ばれる自治組織が作られました。惣では「寄合」という会議が開かれ、村独自のルールである「掟」を定めたり、共同作業の調整を行ったりしました。選択肢にある「座」は中世の商工業者の同業者組合、「五人組」は江戸時代の連帯責任制度、「株仲間」は江戸時代の特権的な商人の組合を指します。
問14	答え 2 寄合 － 村掟	惣の運営では、有力な農民たちが「寄合」と呼ばれる会議を開いて意思決定を行いました。そこでは、入会地の利用規則や祭礼の運営、犯罪の処罰など、村の秩序を維持するための「村掟（むらおきて）」が定められました。これにより、農民たちは領主に対抗して年貢の減免を求める強訴（ごうそ）などを行う団結力を備えるようになりました。